

《第 29 号》「環日本海地域の環境先端県を目指して」

石井隆一（富山知事）

富山県は、立山連峰や蜃気楼が見られる不思議の海富山湾など、豊かな水と緑に恵まれています。県では、こうした素晴らしい環境を将来に引き継ぐため努力しており、全国に先駆けた取り組みも数多く行なっています。

まず、今年 4 月から全国で初めて県内全域のスーパーマーケット等でレジ袋の無料配布が取り止められました。県内では 10 年以上前から消費者団体などがマイバッグ運動を進めてきましたが、持参率は近年伸び悩んでいました。そこで、昨年 6 月に事業者、消費者団体、行政の三者で協議会を設置し、今や「待ったなし」の地球温暖化対策を推進するためには私たちの生活スタイルの見直しが必要との共通認識のもと、レジ袋の無料配布取り止めを決定しました。シンポジウムや啓発に努めた結果、幸い開始後の混乱もなく、4 月の持参率も 93%と予想以上に高くなりました。4 月以降、実施店舗も確実に増えています。

また、エコライフスタイルを普及するため、国のチーム・マイナス 6%に富山オリジナルを加えた環境にやさしい 10 の取り組みを実践する「とやまエコライフ・アクト 10 宣言」キャンペーンを展開しています。これまで、目標を大きく上回る 7 万人を超える宣言(人口比 7%)があり、全国トップクラスの取り組みとなっています。

さらに、「森づくり条例」の制定や「水と緑の森づくり税」の導入による県民参加の森づくり、地方都市で初めて開催された「日中韓三カ国環境大臣会合」と同時開催した日中寒露の産学官 32 機関の参加による「北東アジア環境パートナーフォーラム」なども進めています。自然が豊かで美しく、多彩な歴史・文化にも恵まれた富山県。今後とも、「環日本海地域の環境先端県」を目指して、面民に皆さんとともに、しっかり取り組んでまいります。

以上